

各位

株式会社 鶴 弥
代表取締役社長 鶴見 栄

乾式棟システム「カルむね」発売のお知らせ

この度当社は、屋根を軽くし、高い耐久性を実現するオリジナル乾式棟システム「カルむね」を発売させていただくこととなりましたのでお知らせいたします。概要は以下の通りです。

記

1. 開発経緯

住宅市場における「安全性」の要求が強まる状況下、屋根の軽量化や耐久性の向上が今後の屋根材市場を左右するとも言える条件となっておりました。また、周知のとおり住宅建築の「工期短縮化」が重要な要素とされる中、施工仕様の簡素化を図る事が有効な手段と考えられます。

このような背景下、対応する工法として棟部の「乾式工法」(1)が注目され、国内においては、乾式工法部材の輸入商品(ドイツなど)も一部出始めましたが、コスト高や意匠性などの問題から国内使用において難点があります。これに対し当社は、国内メーカーとして自社の粘土瓦製品に対応する乾式工法部材をリーズナブルに且つ迅速にお届けし、効率的な施工ができるよう独自の開発を進めることと致しました。

(1「乾式工法」: セメント、モルタル、屋根土等の材料を使わない方法。施工に水を使わない。)

2. システム概要

「カルむね」は、スーパートライ110シリーズ(タイプ ・ ・ ・、サンレイ)を採用する寄棟屋根の棟部分に適用できる新「乾式工法」です。高耐久性部材と透湿性・防水性に優れた部材から構成され、屋根の耐久性向上・重量軽減、施工の簡素化を実現しました。

施工イメージ:

「スーパートライ110タイプ」施工屋根の棟部における「三角冠乾式工法」(カルむね)



高耐久のEPDMゴムを材質とする「シーラー」の接着
経年変化による劣化や雨水の浸入を防止。



ポリエステル不織布とポリエチレンフィルムの複合材料から成る「カルむねシート」の固定
透湿性・防水性に優れる。



完成。シンプルな施工で、美しい仕上がりを実現。

3. 特長

・「耐久性」(劣化防止):

高耐久部材(EPDMゴム)による「シーラー」と、透湿性のあるポリエステル不織布・ポリエチレンフィルムとの複合材料から成る「カルむねシート」を採用することにより、劣化に強く、地震や雨水による剥がれを防止する。

・「扱いやすさ」(施工時における利点):

施工仕様がシンプルであるため施工が容易であり、施工時間の短縮を実現する。

(当社調査:湿式工法(2)と比較し50%の施工時間削減)

湿式工法のように雨が降り出すタイミングに注意する事なく施工が可能。

凍害対策も不要で寒冷地においても使用可能である。

(2「湿式工法」:セメント、モルタル、屋根土等を使う工法。水を混ぜた材料を用いる。)

・「安全性」(防災性に優れた工法):

屋根重量は、湿式工法と比較し、約1トンの軽量化(20%)を可能とする(当社調査)。

降水量240mm/h・風速49m/sという厳しい条件下の防水性能試験(3)においても「漏水無し」の結果が得られた。(3:於 愛知県三河窯業試験場)

4. 発売時期

平成18年7月より発売

5. 材工設計価格(棟に使用する瓦も含む)

F形カルむね工法 : 9,000円/m

サンレイカルむね工法 : 10,000円/m

6. 発売後1年間の販売見込み

100百万円

7. 詳細に関するお問合せ先

営業開発部 商品企画課

TEL : 0569-29-2967

FAX : 0569-28-5566

e-mail : kaihatu@try110.com

以上